



クールシティ推進事業

2019年度要求額
93百万円(38百万円)

事業目的・概要等

背景・目的

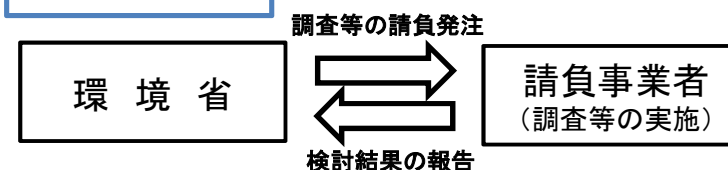
- 気候変動やヒートアイランド現象等による気温上昇に伴う人への暑熱ストレスの増大
- 人工排熱の排出抑制等の「緩和策」には長期的な取組が必要
- ヒートアイランド対策大綱や気候変動の影響への適応計画において暑熱対策は重要な対策として位置

事業概要

暑熱対策を中心としたヒートアイランド対策の強化

- ①暑熱対策分野の適応策推進【新規】
- ②都市部の観光地等における暑さ指数の調査・検討
- ③効果的な暑さ指数(WBGT)の情報発信の検討【増額】
- ④熱中症予防情報の継続的提供、多言語化【増額】

事業スキーム



「暑熱対策」を中心に調査・検討を実施

イメージ

- ① 街路樹による日射遮蔽、高反射塗装など、暑熱対策による人への暑熱ストレスの低減効果について事例収集・分析し、暑熱対策計画等の対策効果の算定において用いるべき評価指標、算定手法を整理。実証事業により効果を検証し、算定手法を確立。個人・事業者ができる対策も含め、暑熱対策の意義・効果の見える化により、対策の社会実装を促進。【新規】
- ② 人が多く集まる都市部の観光地等において、既に公開されている近傍の暑さ指数(WBGT)測定値を活用してより適切な暑さ指数を提供する方法の調査・検討を行う。
- ③ 熱中症対策、暑さ対策の効果を高めるため、暑さ指数の周知及び活用の推進の検討を行う。【増額】
- ④ 環境省熱中症予防情報サイトで現在提供している全国約840地点における暑さ指数(WBGT)の予測値・実況値について、新たに追加した実測地点のデータを用いてさらに予測精度を高め、インターネットによる熱中症予防のための一層の情報提供を推進する。また、サイトの多言語化を推進する。【増額】

期待される効果

人への暑熱ストレスを低減させる「暑熱対策」の社会実装の進展

(暑熱対策:街路樹やミスト、打ち水、日射高反射塗装等による暑熱環境の回避等)

「暑熱対策」の事例
(左:緑陰、右:ミスト)

